

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年5月15日(2024.5.15)

【公開番号】特開2024-26311(P2024-26311A)

【公開日】令和6年2月28日(2024.2.28)

【年通号数】公開公報(特許)2024-037

【出願番号】特願2023-206897(P2023-206897)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼内レンズであって、

光学部と、

周縁部と、を備え、

前記光学部の外周縁は、周縁表面を有し、

該眼内レンズの前記周縁部の径方向内側部分は、内側表面を有し、

前記周縁表面は陥凹部を備え、前記内側表面の少なくとも一部分は、前記陥凹部内に配設されるように構成される、

眼内レンズ。

30

【請求項2】

前記陥凹部は、実質的にU字形状又はC字形状である、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項3】

前記周縁部の高さに沿って測定された前記周縁部の約75%は、前記陥凹部内に配設されるように構成される、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項4】

前記周縁部の高さに沿って測定された前記周縁部の約50%は、前記陥凹部内に配設されるように構成される、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項5】

前記周縁部の高さに沿って測定された前記周縁部の約25%以下は、前記陥凹部内に配設されるように構成される、請求項1に記載の眼内レンズ。

40

【請求項6】

前記光学部は、前側要素及び後側要素を備え、前記陥凹部は、前記前側要素内に形成される、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項7】

前記光学部は、前側要素及び後側要素を備え、前記陥凹部は、前記後側要素内に形成される、請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項8】

前記光学部の前記陥凹部に対して前方となる部分は、前記光学部の前記陥凹部に対して後方となる部分を越えて径方向外側へ延在し、前記光学部の前記陥凹部に対して後方となる

50

部分は、前記光学部の前記陥凹部に対して前方となる部分を越えて径方向外側には延在しない、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 9】

前記光学部の前記陥凹部に対して後方となる部分は、前記光学部の前記陥凹部に対して前方となる部分を越えて径方向外側へ延在し、前記光学部の前記陥凹部に対して前方となる部分は、前記光学部の前記陥凹部に対して後方となる部分を越えて径方向外側には延在しない、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 10】

前記陥凹部は、前記光学部の光軸に対して直交する軸線に関して対称である、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

10

【請求項 11】

前記内側表面は、該眼内レンズの平面視において、前記周縁部が前記光学部から延在する箇所から離間されている、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 12】

前記周縁部の前記内側表面は、前記光学部に対して物理的に係合する又は前記光学部に隣接しているが、物理的に係合する又は隣接している箇所において、前記光学部に対して直接的に物理的に取付けられていない、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 13】

前記周縁部の前記内側表面は、前記光学部に隣接している場合に、前記光学部の前記周縁表面から 100 マイクロメータだけ離間されている、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

20

【請求項 14】

前記周縁部の前記内側表面は、前記光学部に隣接している場合に、前記光学部の前記周縁表面から 50 マイクロメータだけ離間されている、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 15】

前記陥凹部は、前記周縁部が前記光学部から延在する箇所には延在しない、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 16】

前記光学部は、前記光学部の前記外周縁の回りに、離間された別個の陥凹部を備える、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

30

【請求項 17】

前記内側表面は、前記眼内レンズの静止構造形で、前記光学部の前記陥凹部内に配設される、請求項 1 に記載の眼内レンズ。

【請求項 18】

眼内レンズであって、

光学部と、

周縁部と、を備え、

前記光学部の外周縁は、該眼内レンズの前記周縁部の径方向内側部分の少なくとも一部分に対して少なくとも部分的に相補的な形状である周縁表面を有する、

眼内レンズ。

【請求項 19】

眼内レンズであって、

光学部と、

周縁部と、を備え、

前記光学部の外周縁は、周縁表面を有し、

前記周縁表面は、前記光学部の光軸に直交する軸線に関して非対称な陥凹部を有し、

該眼内レンズの前記周縁部の径方向内側部分は、内側表面を有し、

前記周縁表面は、前記内側表面に直接的に隣接し、かつ、前記内側表面から直接的には延在せず、

前記内側表面の少なくとも一部分は、前記陥凹部内に配設される、

40

眼内レンズ。

50

【請求項 2 0】

眼内レンズであって、

光学部と、

周縁部と、を備え、

前記光学部の外周縁は、周縁表面を有し、

前記周縁表面は、陥凹部を有し、前記陥凹部は、実質的に横向きのV字形状又は谷形状に成形され、

該眼内レンズの前記周縁部の径方向内側部分は、内側表面を有し、

前記周縁表面は、前記内側表面に隣接し、かつ、前記内側表面から直接的には延在せず、

前記内側表面の少なくとも一部分は、前記陥凹部内に配設される、

眼内レンズ。

10

【請求項 2 1】

眼内レンズであって、

光学部と、

周縁部と、を備え、

前記光学部の外周縁は、周縁表面を有し、

前記周縁表面は、陥凹部を有し、前記陥凹部は、1つ又は複数の平坦表面を含み、

該眼内レンズの前記周縁部の径方向内側部分は、内側表面を有し、

前記周縁表面は、前記内側表面に隣接し、かつ、前記内側表面から直接的には延在せず、

前記内側表面の少なくとも一部分は、前記陥凹部内に配設される、

眼内レンズ。

20

【請求項 2 2】

眼内レンズであって、

光学部と、

周縁部と、を備え、

前記光学部の外周縁は、周縁表面を有し、

前記周縁表面は、陥凹部を有し、前記陥凹部は、前後方向において前記光学部の全ての又は実質的に全ての周縁部に沿って延在し、

該眼内レンズの前記周縁部の径方向内側部分は、内側表面を有し、

前記周縁表面は、前記内側表面に隣接し、かつ、前記内側表面から直接的には延在せず、

前記内側表面の少なくとも一部分は、前記陥凹部内に配設される、

眼内レンズ。

30

40

50